新工場ご案内

共和薬品工業株式会社　鳥取工場

2017年3月末日、鳥取市南吉方3丁目（旧三洋電機跡地）に敷地面積約20,000㎡，延床面積約7,546㎡の鉄骨3階建ての鳥取工場を竣工しました。当工場は内服固形製剤の製剤工程及び包装工程を有する工場で、一貫製造と主としてLupin社から輸入したバルク製剤品の選別工程以降の製造工程を行います。



鳥取工場　外観

工場設計においては、既存工場である三田工場との生産補完を容易とする機械設備を導入すること、フロービン混合機を用いることで容器への粉末排出を出来るだけ最小限にすると共に、フロービン自動搬送システムを採用し、人と物の動線を分離することで異物混入や交差汚染の防止に努めています。また省エネ対策を図ることを目指し、電気設備デマンド監視システムを採用しています。

工場稼働については、2017年7月より個々の製品のバリデーションを開始し、秋頃より一部製品の出荷を目指しております。その後2018年度からは本格生産へ移行し、年間で10億錠程度の生産数量を確保する計画です。なお当工場の最大稼働時の生産能力は年間20億錠を見込みます。


混合室


印刷室